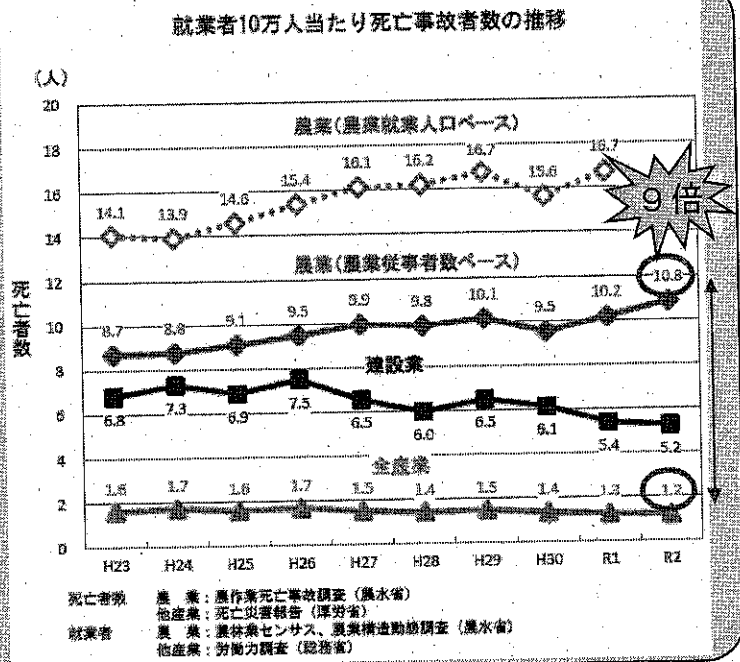
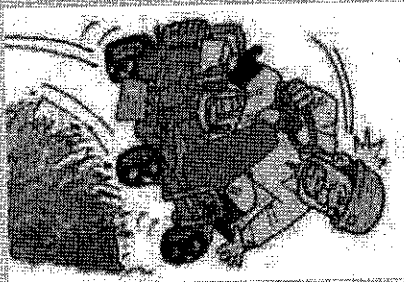


# 見直そう！農作業安全

## 農作業による死亡事故が増えています

- ・他産業の労働災害による死亡事故が減少する中、農作業による事故は増加しています。
- ・令和2年の死亡事故は、全産業平均の9倍の発生率となっています。



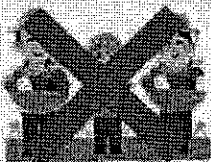
## 事故による様々な影響



農作業事故発生



労働力の減少・喪失



最悪の場合  
経営破綻、離農

### ○ 身心への影響

- ・治療や後遺症による肉体的なイメージ
- ・自分の過失に対する心理的・精神的なダメージ

### ○ 経営への影響

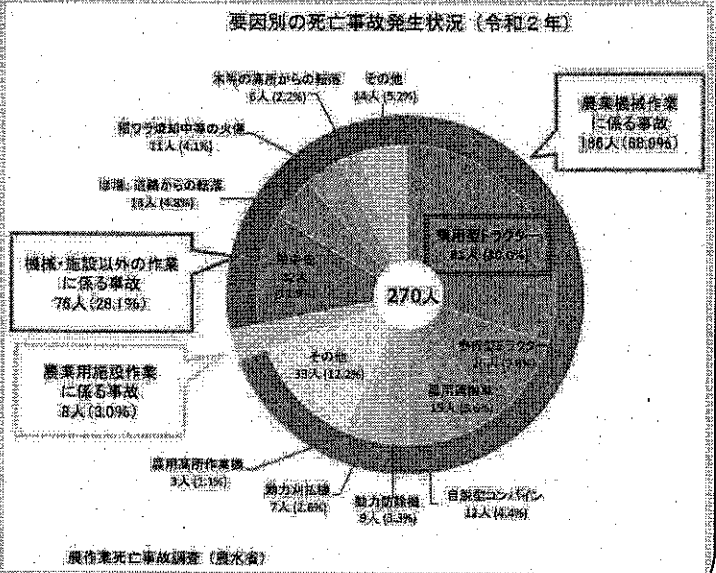
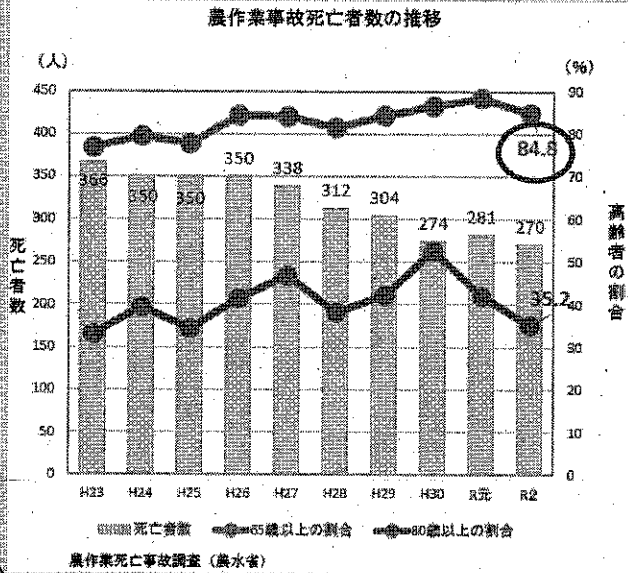
- ・治療費の負担、休職や後遺症による収入減少・債務増加、代替労働力の確保、新たな機械の調達等による金銭的なダメージ
- ・作業能力の低下、代替労働力が確保できない場合の作業停滞等による事業継続へのダメージ

### ○ 地域農業への影響

- ・離農した場合、農地を引き受けてくれる担い手が確保できなければ、耕作放棄地が発生するといった地域の未来へのダメージ

# 高齢者による事故、機械操作に伴う事故が多くなっています

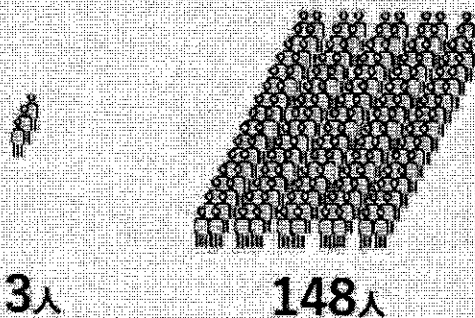
- ・高齢化の進展に伴い、高齢農業者による事故の割合が増えています。  
(農作業死亡事故件数の8割以上が65歳以上)
- ・死亡事故の原因別では、農業機械の操作に伴うものが7割を占め、その約半数が乗用型トラクターによるものとなっています。



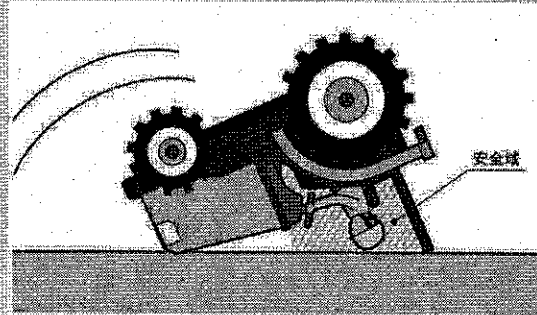
## トラクター運転時はシートベルトの着用を!

### トラクター等の交通事故による死亡者数

シートベルト着用あり      シートベルト着用なし



※農林車の公道での交通事故による死者計  
(平成27～令和元年度合計: 697人)の内数  
(合計) 交通事故総合分析センターの集計結果より作成



- ・安全フレームを適切に使用し、シートベルトを着用していれば、転落・転倒時に安全域にとどまれる確率が高い。
- ・ヘルメットをしていれば頭部損傷を軽減できます。